



BSR 通信

BSR 推進室ニューズレター第 27 号

平成 28 年 6 月 10 日

発行：大正大学 BSR 推進室

〒170-8470 東京都豊島区西巢鴨 3-20-1

03-3918-7311 (代)

bsr_lab@mail.tais.ac.jp

目次

- 1 頁：すかも鴨台花まつり表白
- 2 頁：BSR コラム
- 3 頁：BSR トピックス・さざえ堂だより
- 4 頁：BSR 図書室 / 今後の予定

第 3 回 すかも鴨台花まつり 表白

導師・大正大学 学長 大塚伸夫

すかも鴨台花まつり 表白

敬て 真言教主大日如来両部海会諸尊聖衆 殊には大正大学「すかも鴨台観音堂」御本尊 聖観自在菩薩並びに制吒迦童子総じては 仏眼所照一切三宝の境界に白して言さく

本日爰に 大正大学設立宗派 天台宗 真言宗豊山派 真言宗智山派 浄土宗 加えて時宗 各宗派の学生諸君を職衆に迎え 本学勤行式の法則にのっとり 鴨台観音 花まつり 花会式を勤修す

惟るに大正大学の建学の精神たる「智慧と慈悲の実践」を具現化せんが為に建立せし「すかも鴨台観音堂」は 平成二十五年五月十八日に落慶法要を催してより已来 地域の人々をはじめ数多くの方々の参拝を頂戴せり 即ち是れ 御本尊 聖観自在菩薩の大慈悲の光明 遍く照らしたる大功德の現れなり 正に此れ 毎月各宗派毎に花会式法要を勤修し

供養の誠を尽くして 本尊聖者の威光倍増を願えし賜物なり 小衲かたじけなくも導師の座に登り 磬鐘を鳴らして 学生諸君と共に供養の誠を尽くし 御本尊 聖観自在菩薩並びに制吒迦童子の威光益々倍増して 地域社会に於ける仏縁所となり 引いては地元巢鴨地域の新たな創生の核とならんことを祈念し奉る

本尊聖者 我等の微志を早く納受し給うて 大正大学ならびに巢鴨の地を常しえに擁護し給わらんことを 重ねて乞う

世界平和 万民豊楽 仏法興隆 仏日増輝
大学安穩 学業成就 参詣諸人 幸福増進
乃至法界 平等利益

維時 平成二十八年五月二十一日

大正大学 学長 真言宗豊山派 中僧正 慈伸 敬白

BSR コラム

お盆と盆おどい

大正大学 学長補佐
 仏教学部 教授
 BSR 推進室
 塩入法道



盆踊りは単なる夏のリクレーションではない。祖霊を迎えて接待し、またあの世に送るという日本のお盆の行事（仏教では盂蘭盆会（うらぼんえ）ともいう）と一体のものである。お盆は、新仏や祖霊をまつる行事・法会として、もともと旧暦の7月13日から15日ないし16日の間に行われていたため、気候的に旧暦に近い8月に月遅れで行う地域も多い。

お盆の典拠は『盂蘭盆経』というお経にもとづくことされる。それによれば、お釈迦様の弟子の目連（もくれん）尊者の母親は布施をすることを好まなかったために餓鬼道に堕ちて苦しんでいた。これを知った目連がお釈迦様に相談すると、陰暦7月15日は僧侶が自己の犯した罪を告白し懺悔する日であるから、この日にいろいろな供物を盆に盛って坊さん達に供養するがよい、と教えられた。目連がこれに従い供養したところ、その功德によって彼の母親は餓鬼道の苦しみから解放されたという。ちなみに目連がこれを喜んで踊り狂ったのが、盆踊りの始まりとも言われているが、これは少々こじつけと思われる。

また盆踊りのルーツは、平安中期の念仏聖、空也の始めた「踊躍念仏（ゆやくねんぶつ）」の影響のもと鎌倉時代に時宗の開祖一遍上人が広めた「踊念仏（おどりねんぶつ）」であるという説もある。これは「南無阿弥陀仏」を唱えながら小屋掛けなどで踊り回るもので、念仏を唱え、単純なリズムに乗って踊りまくることで一種の陶酔感や一体感が得られ、念仏の信仰を超えて人々に受け入れられた。念仏によって亡くなった人の霊魂を鎮めて供養するという意味もあり、盆踊りにつながっていったとされる。

ところで、目連尊者の話は、餓鬼道に堕ちた母親の救済という信仰から始まっていることから、餓鬼に供養するお施餓鬼法要もお盆の中のひとつの行事、さらには両者が一体のものに見なされるようになった。

餓鬼道とは生き物が輪廻転生を繰り返す六道（ろくどう）の一つであるが、もともと古代インドで死者やその霊魂のことを意味し、適切な祭祀が行われないと亡霊化して人びとに憑（つ）いたりするとされる。生前の貪りや嫉妬の罪によってお

もむく餓鬼の世界は、仏典などに多彩に表現されており、常に飢餓状態にあるその姿は、昔の民衆にとって非常に印象的で、かつ身近な存在であったろう。仏教ではこのいわば無縁の餓鬼に食物や水を施すことが功德ある行為とされ、祖先や新仏に対するのと同様な供養がされた。

盆踊りは、その家あるいはその地域の祖霊および餓鬼をも含めた一切の霊魂を歓待し慰め、よき世界に送り届ける風習である。だから楽しく明るい雰囲気でも盛り上げるわけだが、この面がより発展していくと、娯楽、芸能化していく。なお、舞踊には「まう」「おどる」の二つの意味があるが、舞いは旋回運動を基とし神迎えの、踊りは上下運動を基とし神送りの意味を持つという。盆踊りは故人や先祖の霊を送るための行為なので、「盆舞い」とは言わない。

江戸時代以降、盆踊りは日本各地の文化を背景に様々な展開した。イベント化し様々な趣向が凝らされるようになり、庶民の楽しみ、若い男女の交際の場ともなった。反面、宗教色は薄れてきているが、500年に及ぶ歴史をもち、現在でも多くの人々が楽しむ日本の代表的な民俗芸能である。夏になれば、東京都内だけでも数百か所で盆踊りが開かれるという。そして各地に独特の盆踊りの歴史があり、その形態や性格は多彩である。

しかし、あの世との交流ということがその基調にあるため、一抹の淋しさや翳りもどこかに感じられる。旧暦7月15日は今の暦で8月下旬以降になり、すでに初秋で、しかも旧暦であるから満月である。その満月のもと、華やいだ中にもしみじみとした盆踊り、本来はそんな感じであったろう。

盆踊りは、東京ディズニーランドやユニバーサルスタジオの催しとは根本的に違う。子どもからお年寄りまで、地域の人みんなが一緒に踊る、そこにあらためて心ががよい合い、きずなが深まるのではなかろうか。

BSRトピックス

第6回 鴨台盆おどり 開催!!

大正大学では、昭和40年代に廃止された盆踊りを平成23年7月に復活。第1回は「NCC地域セミナー」の一環として、東日本大震災の犠牲者の鎮魂と供養をあわせて、学生主体の手作りの盆踊りを開催いたしました。以後、年を追うごとに参加者も増え、設備も整い、最近ではのべ2千名近い学生や地域の方々が、踊りや夕涼みに来てくれるようになりました。

今年は本学の設立90周年ということもあり、スタッフの学生も張り切っております。どうぞお誘い合わせでご参加ください。

第6回 鴨台盆踊り

日時：7月8日(金)・9日(土)
16:00から 出店等開始
18:00~20:00 盆踊り

場所：大正大学 巢鴨校舎



大正大学で昭和40年代に行なわれていた「盆踊り」(みたま祭り)：今の礼拝堂辺りの校庭にて



【第1回 鴨台盆おどり】

さざえ堂だより

すがも鴨台花まつり

去る5月14日から21日までの間、「すがも鴨台花まつり」が開催され、最終日の21日に鴨台花まつり法要が営まれました。

このお祭りは、花会式の拡大版法要として開催され、今回で第3回を数えます。昔から「トゲのある花は仏さまには上げない」と言われていますが、原産地がチベット周辺と仏教にも縁のある花ということで、第1回から「バラ」を中心に仏さまを花でお飾りしており、観音様のご宝前には丁寧に1本1本トゲを抜いたバラを上げています。また巢鴨駅前商店街、巢鴨地藏通り商店街、庚申塚商栄会の三商店街のご協力により、巢鴨の街頭を様々な花の鉢植えで飾りました。

法要は大塚伸夫学長が導師となり、天台宗、真言宗豊山派、真言宗智山派、浄土宗そして時宗所属の学生が出仕して行われました。次第は、「大正大学勤行式」という法則に巻頭に掲載した



「表白文」を加えたものです。今回は法要・法話を二座行い、1回目の法要で、袴姿の女子学生が導師の大塚学長から、熊本地震の義援金募金箱を託され、巢鴨地藏通り方面に向けてお練り行列に出発、庚申塚通り・地藏通りで募金活

動を終え2回目の法要に合わせて大学に戻りました。集まった募金は大塚学長の手により、観音様のご宝前に奉呈されました。

また今回、初めての試みとして「御朱印」を行いました。昨今御朱印がブームになっていることは知っていましたが、当初、予め差し札を用意してそれを配付するのを主にし、納経帳をお持ちいただいた場合には手書きするとしていました。納経帳をお持ちになる方は、ほとんどいないだろうと予測していた所、4時間で約50名の方が、納経帳をお持ちになり御朱印を受けていたのは、非常に驚きでした。



この他にも大正大学ご本尊、礼拝堂の「阿弥陀如来」(重要文化財)の特別開帳やお坊さんカフェ「僧話花(そわか)」など大正大学らしい、仏教をより身近に感じていただけるお祭りとなりました。

大正大学では、ここ巢鴨の地で様々なイベントを通じ、地域の活性化を図り、法要ではお越しいただいた皆様の心の安寧を願っています。それは、TSR(大正大学の社会的責任)の中で、「BSR(仏教者の社会的責任)を推進する」という活動の一つです。また法要等に参加した学生の成長の一助になることを大いに期待しています。(M)

BSR 図書室

「地球の歩き方」編集室 著

日本全国 この御朱印が凄い！

(ダイヤモンド社 2013 年、1500 円+税)

「さざえ堂だより」にて今回初めて「御朱印」を行ったことを紹介しました。さざえ堂の御朱印をどのようにするか、大いに参考にさせていただいたのが本書です。

御朱印ブームと言われる昨今、御朱印の基礎知識、正しい頂き方、ルール・マナーを詳しく解説するとともに、日本全国より選りすぐった御朱印を、「墨書が凄い」、「存在が凄い」、「主役が凄い」、「個性が凄い」、「希少性が凄い」のキーワードで紹介しています。

また、鴨台さざえ堂上り階段の壁面の、梵字による『般若心経』の真言（ギャーテー ギャーテー・・・）を書いた本学講師の小峰智行先生が「御朱印を書く人」として紹介されています。御自坊の観蔵院様の御朱印は平筆を使った悉曇（しつた



ん) が特徴の御朱印です。小峰先生は、書く者の心得として、「御朱印を書くのは自己表現ではない、上手く書こうという主観を無くし、何も考えずに丁寧に書く、ただ何も考えないといっても御朱印を授与する方に不動明王の功德がありますようにという願いを込めている。」とお話しています。

「御朱印はスタンプラリーではない」このフレーズは、本書でも度々出てきますが、書く人も参拝者の気持ちに寄り添って書くことが大切であると感じました。それが出来れば、御朱印を通じて心が通い、信仰心の涵養につながると思います。

とにかく本書には凄い御朱印が載っています。ご参考にしてみては如何でしょうか。(M)

今後の予定

6月18日(土)	11時~12時	花会式(真言宗豊山・智山派合同)	鴨台観音堂前
		※弘法大師・興教大師誕生法会	
	9時~13時	あさ市	南門 けやき広場
	13時~15時	お坊さんカフェ「僧話花」	5号館 1階
7月16日(土)	11時~12時	花会式(時宗)	鴨台観音堂前
	9時~13時	あさ市	南門 けやき広場
	13時~15時	お坊さんカフェ「僧話花」	5号館 1階



表白執筆者(導師)紹介

大塚 伸夫 (おおつか のぶお) ※僧名は「慈伸(じしん)」
 大正大学 第29代 学長 / 仏教学部 教授
 大正大学 仏教学部 卒業
 大正大学院 文学研究科博士課程 単位取得満期退学
 専門は、インド初期密教の形成史ならびに真言思想
 平成 21 年 3 月 博士(仏教学) 学位取得
 平成 27 年 11 月 学長就任 真言宗豊山派 大日寺 住職

巻頭写真

バラで飾られたさざえ堂